

＜東海テレビかわら版＞

平成 29 年度文化庁映画賞の文化記録映画部門

東海テレビ制作

映画「人生フルーツ」優秀賞を初受賞の快挙！

文化庁は毎年、映画芸術の向上とその発展に資するため、文化庁映画賞として、優れた文化記録映画作品（文化記録映画部門）などに対し顕彰を実施している。文化記録映画部門では、選考委員会における審査結果に基づき 3 作品（文化記録映画大賞 1 作品，文化記録映画優秀賞 2 作品）を受賞作品として決定した。今回、文化記録映画優秀賞に東海テレビが制作した映画「人生フルーツ」が選ばれた。東海テレビが過去にこの賞を受賞した事はなく、初の快挙を達成することになった。

この映画「人生フルーツ」は、今年 1 月から上映を始め、9 月 22 日（金）時点で観客動員数は 195,000 人を突破し、間もなく 20 万人を動員しようとしている。ドキュメンタリー映画が 20 万人もの観客を動員するのは、極めて珍しく、配給元も驚く状況が今も続いている。プロデューサーの阿武野勝彦（東海テレビ）は、下記のように喜びのコメントを寄せている。

【東海テレビ 阿武野勝彦コメント】

「ドキュメンタリーの劇場公開を始めて 6 年、本作『人生フルーツ』で 10 本目です。この賞をいただけるところまで来たと、感慨ひとしおです。1 月に全国のミニシアターでロードショーを始めたこの作品は、いまま上映が続いていて、シネコンへと広がる不思議な現象を経験しています。制作スタッフ一同、この賞を励みに、更に表現を磨いて、良い作品を全国のみなさんにお届けしたいと意気込んでいます。」

以上